

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：

使用教科書：（改訂版 ON!1（音楽之友社））

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・共同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A. 楽典(リズム) 【知】リズムに関する基礎理論(楽譜・拍子・音符)を知り、音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 【思】リズムについて自分のイメージをもち、他者との話し合いによって自らの表現活動を行う。	①オリエンテーション ②楽譜について ③拍子について ④音符について				○ ○	【知】曲想や表現上の効果と構成上の特徴を、表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けている。 【思】リズムに対する知識を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって鑑賞・創作活動を行っている。 【態】リズムに関心をもち、主体的・協同的に音楽活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B. 歌唱 【知】歌唱における基礎的な知識を身に付け、歌唱表現に必要な技能を身に付ける。 【思】歌唱表現における知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。	①校歌(斉唱・合唱) ②ふるさと(アカベラ・混声4部) ③春に(混声3部) ④実技テスト		○			【知】言葉の特性と曲想、様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けている。 【思】声楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 【態】声楽に関心をもち、主体的・協同的に音楽活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	C. 器楽・創作 【知】創意工夫を生かした器楽・創作表現をするために必要なボディ・パーカッションの知識・技能を身に付ける。 【思】表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表したい自己のイメージをもって表現を創意工夫する。	①YOU CAN DO IT! ②グループでリズム創作 ③クラス発表会			○	○	【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、構成上の特徴について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な他者との調和を意識して演奏する技能や反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。 【思】音楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫している。 【態】ボディ・パーカッションに関心をもち、主体的・協同的に音楽活動に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	D. 西洋音楽史① 【知】中世～バロック音楽の特徴と、文化的・歴史的背景について理解する。 【思】西洋古典音楽に関わる知識を得たり生かしたりしながら音楽表現の固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	①中世～ルネサンスの音楽 ②バロックの音楽				○	【知】中世～バロック音楽の特徴と、文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解しながら鑑賞できている。 【思】鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、西洋の歴史における音楽の意味や価値を考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【態】中世～バロックの音楽に関心をもち、主体的・協同的に音楽活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	A. 楽典(和音) 【知】和音に関する基礎理論(音名・和音)を知り、音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 【思】和音について自分のイメージをもち、他者との話し合いによって自らの表現活動を行う。	①音の名前について ②和音について				○	【知】曲想や表現上の効果と構成上の特徴を、表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けている。 【思】和音に対する知識を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって鑑賞・創作活動を行っている。 【態】和音に関心をもち、主体的・協同的に音楽活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2





高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 芸術科目： 美術 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 組  
 教科担当者： ( A 組： ) ( B 組： ) ( CD 組： ) ( GH 組： ) ( 組： )  
 使用教科書： ( 日本文教出版 美術 I )

教科 芸術 の目標： 芸術文化に理解を深め生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる  
 【知識及び技能】中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適材適所の使い方を  
 【思考力、判断力、表現力等】発想から完成までの計画性と創造的な表現の構想を練ることで感性を高め技能を習得する  
 【学びに向かう力、人間性等】自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現する  
 科目 美術 I の目標： 感性や想像力を働かせて心豊かな発想をし、よさや美しさを などを考え構想する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適材適所の使い方をしている	発想から完成までの計画性と創造的な表現の構想を練ることで感性を高め技能を習得している	自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現している

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価の方法、	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	「見る 感じ取る 考える 表す」 高校美術 I のイメージを持ち美術の 学びの意味や広がりについて考える	美術学習のオリエンテーション 授業内容、必要な用具や材料教科 書の説明 補色の理解	○	○	○	美術への関心や意欲、態度、教科書の内容が 理解できたか	○	○	○	2
	プリントの図形を的確に理解し表現 すること プリントの指示を守り ながら丁寧に1つずつ明度をつける	立体の意識 正面・側面・上面3方 向からの図形から立体を描く デッサンからのグラデーション練 習	○	○		立体を把握しデッサンできたか 根気強く丁寧に描く	○	○	○	4
	白と黒が隣り合うときの明暗や線が 長短に見える錯覚の理解する 立体の意識を持ちながら正確に対象 物を描く	石膏デッサン 線ではなく面で捉 える 指導 空気をどうゆうふう に表現するか	○	○	○	錯覚を理解できたか 丁寧に対象物を良く観 察し立体の意識を習得できたか 微妙な明度 を表現することができたか 質感の書き分け ができていないか	○	○	○	8
	構造を理解して細かく丁寧にカッ ティングする 折り目線の処理の仕 方や図柄の指示を理解して作業する	飛び出すカード プリントを使っ てカッティングの技能を身につけ る	○	○		指示を理解して丁寧に作業ができていないか	○	○	○	12
2 学 期	ラバットの仕方や構造の理解を深め る 色彩豊かな表紙を創り細部まで 神経をいきたらせる	飛び出すカード 飛び出す仕掛け を理解して立体的なカードを創る 相手にメッセージが伝わる様にア イディアを工夫して個性豊かな 表現する	○	○	○	自分なりの発想で豊かな表現ができていないか カード創るうえで立ち上がりなど動作を考え て立ち上げられているか カードの表紙にも 繊細な作業ができていないか 全体的に美しく 仕上げられているか	○	○	○	16
	表現方法を工夫してスクラッチする 額板をデザインに合わせて彫る額を カラーワックスで塗装して仕上げる	額付きスクラッチ 動物のプリン トを使った自由な発想でバックを 考える 作品と額の一体感が出る よう工夫をして個性豊かな表現を 模索する	○	○	○	丁寧に細部まで動物を移しバックも個性豊か な表現で作業ができていないか	○	○	○	16
3 学 期	鉛筆によるトーンの練習 明度の境 界を見極めて線が引け表現出来たか	写真を使った鉛筆による模写 雑誌のグラフィックから興味のある題 材を基に描く	○	○	○	根気強く丁寧に作業ができていないか 集中力 持続力をもって制作しているか 完成度の高い作品になっているか	○	○	○	10
	等身の理解や正中線のあり方 人物 の構造を理解して描く	人物クロッキー	○	○	○	すばやく相手の特徴をとらえて描くことが できたか 1年間を通して色々なことを発見する 事ができたか	○	○	○	10
									合 計	78